

事業名:「茜茶屋サロン」プロジェクト

活動地域:防府市野島

山口県立大学 社会福祉学部ソーシャルワーク演習Ⅰ

(草平武志教授)

活動の目的	茜茶屋サロンを企画・実施し、引きこもり高齢者の交流の場とする。
活動地域	防府市野島地域
活動期間	6月10日(月)～9月29日(日)
活動内容	引きこもりがちな高齢者の新たな交流の場として、「サロン」を開催するため、社会福祉学部の19名の学生が、授業の一環として、2回の野島訪問をはじめ様々な活動を行った。7月の最初の野島訪問では、学生が野島の20世帯の家庭を訪問し、サロンについてのニーズ調査を行い、その前後、大学においてニーズ調査も踏まえながら、具体的なサロン活動の企画やハンドマッサージのワークショップを開催するなどの準備を重ね、9月末、島民を対象とした「茜茶屋サロン」活動を実践した。

地域の現状と課題

現状	<p>高齢化率71.7%で、島民のほとんどが50歳以上で子どもが住んでいない島である。</p> <p>防府市の中心部から1日4往復の高速艇により30分で結ばれ、島民にとっての重要な移動手段となっている。</p> <p>釣り客をはじめ、一定の交流人口はある。</p>
課題	<p>島民の高齢化が進み、地域活動の担い手不足や地域の伝統文化の衰退が見られる。</p> <p>島民の日常的な買い物、医療は、週1回の移動販売と週2回の診療所開設により確保できているが日々の生活に支障がある。</p>

現地踏査の様子(7月13日)

島内を歩く



現地踏査(7月13日)

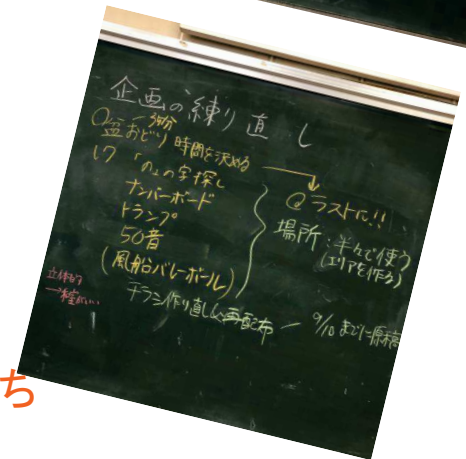
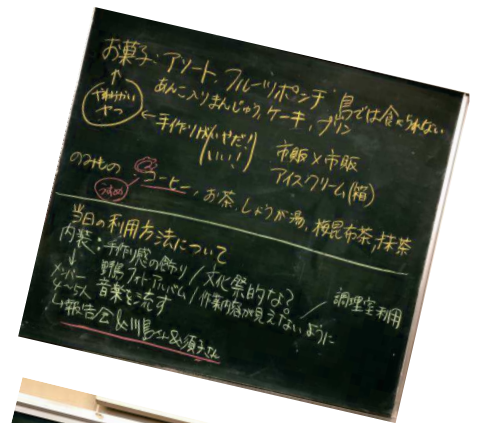
サロンを実施する予定であった古民家。水回りの工事が間に合わずに今年度は実施を断念。漁民センターに会場変更



古民家の様子



現地踏査の様子(7月13日)



聞き取り調査により島民から出たアイデアを持ち寄り企画の練り直しを行いました！！

サロン茜茶屋の実施(9月30日)



お茶を飲みながら交流



ハンドマッサージ



盆踊り保存会によるご指導



野島盆口説きの体験

取り組みの成果等

(島民にとって)

- 異なる年齢、文化背景をもつ学生が地域を訪れることで、島民にとっては新鮮な交流の場を提供できた。
- 島民が誇りに思っている「野島盆踊り」を学生とともに踊ることができ、島の文化の継承につながるものと思われる。

(学生にとって)

- 買い物や通院の不自由さ、島民同士の語らい、豊かな自然を目の当たりにして、島民の生活について考えることができたことは社会福祉学部の学生にとっては生活者の視点で人々の生活を捉える貴重な経験であった。
- 地域の課題を類推し、企画案を協力して立て、実施する経験は貴重なものであった。

残された課題や今後の取り組み

- 外部から提供したプログラムが、必ずしも島民のニーズに即したものでないことがわかったが、島民の真に欲するものは、何なのかはサロンプロジェクトではわかり得なかった。
- 島民と本音で語りあうことができなく、島民の主体性を引き出すまでには至らなかった。